

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】



| | |
|-----------------|--|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別 | ヒヤリ |
| 2. 体験した事例の名称 | 山火事の消火作業を行うため、急斜面を登坂中に落石事故になりそうになった事例 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 山火事の消火作業を行うため、ホース、ロープなどの必要資機材を携行し、急斜面を登坂していたところ、前を歩いている隊員がうっかり浮石を踏んで石を落としてしまい、後ろにいた隊員が危うく落石事故に遭いそうになった。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 登山道のない山だったため、やむなく急斜面にホース線を設定し、消火作業を行っていた。さらには、石の多い山だったので、一人ずつ慎重に登坂を行っていたが、たまたま登坂中の隊員の後ろに待機していたため、落石にあってしまった。幸いにして、落石を避ける事ができ、事故には至らなかった。 |

【体験した事例の直接的原因について】



| | |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

【体験した事例について】



| | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 1. 発生日時 | 平成 20 年 5 月 4 日 午前 9 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 晴 |
| 3. 発生した活動現場 | 屋外：山中の急斜面 |
| 4. 体験した事例の種類 | 回答者が、他人を負傷させた。 |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度） | 軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。 |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか） | その他：落石 |
| 7. 事例体験時の活動 | 火災、現場活動初期 [林野] |
| 8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか | 資機材搬送・使用 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した。 |

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|----------------------|---|
| ○当事者A | 年齢[45]歳、勤続年数[20]年、現場経験年数[10]年、階級[司令補]、同様の活動 [初めて]、任務 [車長] |
| ○当事者B | 年齢[55]歳、勤続年数[30]年、現場経験年数[30]年、階級[消防士]、同様の活動 [初めて]、任務 [隊員] |
| ○当事者C | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 [] |
| その他 (当事者が4人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|------|-------|----------------------------------|----------|
| 経過1 | A | 浮石を踏んでしまい、石を落下させた。 | |
| 経過2 | B | Aの後方から登っていたため、落下してきた石に当たりそうになった。 | |
| 経過3 | | | |
| 経過4 | | | |
| 経過5 | | | |
| 経過6 | | | |
| 経過7 | | | |
| 経過8 | | | |
| 経過9 | | | |
| 経過10 | | | |

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思いませんか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思いませんか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。危険情報を把握、予見できた。集中力、注意力があった。避難・退避がうまくいった。周囲の視界が確保できていた。後方からの監視の目が行き届いていた。他隊(員)から適切な注意を受けた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | はい |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|----------------------------|----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | はい |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・活動に対する経験が不足していた。 | はい |

d. 心身の不調があった

| | |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。 | はい |
| ・暑かった（寒かった）。 | はい |
| ・野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | はい |

h. 足場が悪かった。

| | |
|------------------|----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | はい |
| ・足元の強度が不足していた。 | はい |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | はい |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|----------------|----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい |
| ・隊員が不足していた。 | はい |

○その他

l. その他の理由があった。

| |
|-----|
| いいえ |
|-----|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

